



Holly Street

# イギリス社会住宅の団地再生



Rolls Crescent (Hulme)



Mozart Estate

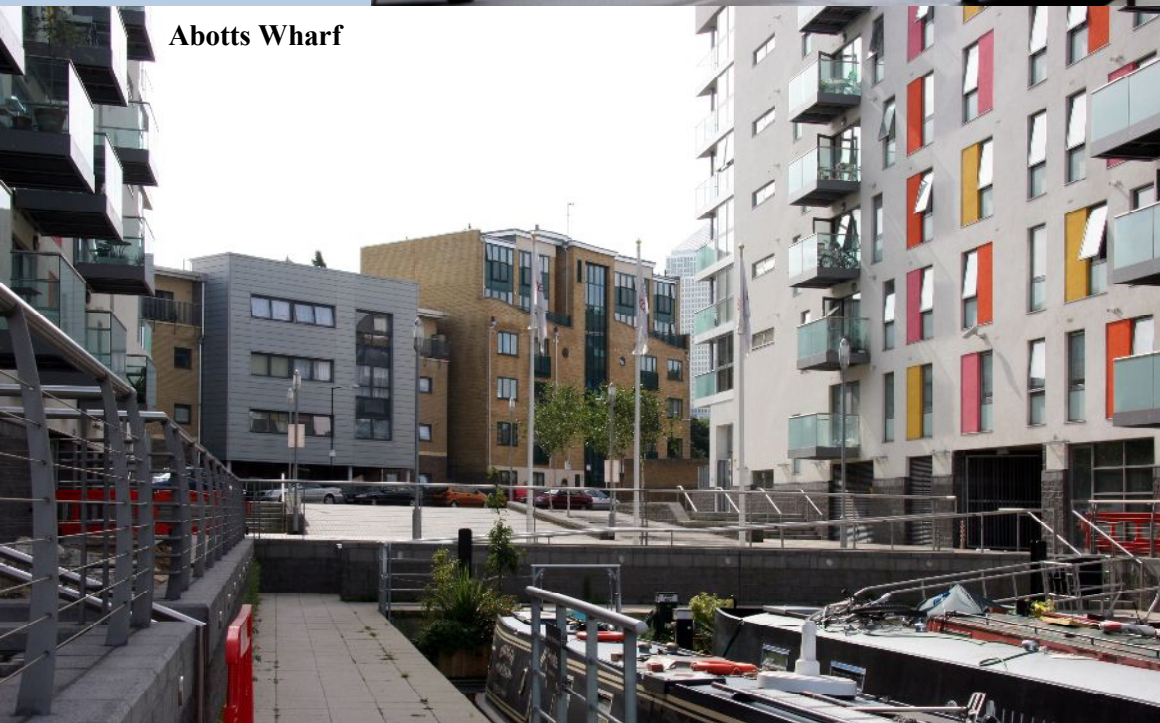
2009.05

佐藤 健正



Marquess Estate

Marquess Estate



Abotts Wharf



Montieth Estate

## はじめに

近代の住宅問題への取り組みにおいて最も長い歴史をもつイギリスでは、早くから住宅を社会資本として位置づけ、国家がこれに強く介入してきた。それ故、社会住宅のストックも豊かで、ロンドンを例にとれば全住宅の約 25%が社会住宅（2007 年）であり、インナー・ロンドンの各区ではその割合が 40-50%近くを占めている（ちなみにわが国の公共住宅（公営、公社、公団）の割合は、全国で 6.6%、大都市圏で 7.4%（2003 年）にすぎない）。それだけに今日のイギリスにおいて、これらの住宅団地の再生は、都市・住宅政策上、社会政策上、極めて重要な課題となっている。

以下においては、ロンドンを中心に、1980 年代から今日に至るイギリスの社会住宅の団地再生等への取り組みを紹介したい。

## もくじ

## はじめに

1	イギリスの団地再生ー背景と概要ー	
1-1	公営住宅団地再生施策の展開	1
1-2	住宅協会の役割	7
1-3	戦後公営住宅のデザイン面、環境面での特質	10
2	特徴的な団地再生・居住地再生プロジェクト	
2-1	ハックニーのリービュー・ハウス物語 ーコミュニティ・アーキテクチャの誕生	14
2-2	「ユートピアへの審判」 ーアリス・コールマンの研究と実践	17
2-3	スーパーブロックの解体、『通り』と『小街区』の再生	26
2-4	街路建築の再生	33
2-5	ラドバーン・レイアウトの改善	37
2-6	コミュニティのバランスと持続性の創出	42
2-7	アーバンビレッジ・コンセプト	46
2-8	団地再生機構（HATs）による団地再生	61
2-9	コインストリートからの挑戦 ーコミュニティ企業による都市再生	69
3	イギリス政府のハウジング・デザインと品質向上 への取り組み	76
	おわりにーわが国は何を学ぶべきか	87
	（参考データ）	
	主要プロジェクト一覧表	91
	参考文献 & 関連 Website	94